

今月の Pick up!

ハチマルニマル

8020達成！おめでとうございます！

～ご自分の歯を30本お持ちの

中本袈裟光さんはじめ、30名が受賞！！～

6月の歯の衛生週間での阿蘇地域高齢者のよい歯のコンクールに応募いただき、次の30名の方々が受賞されました。これは、80歳以上の方で20本以上ご自分の歯を持っておられる方のコンクールです。

これからもご自身の歯でおいしく食べて、お元気で過ごしてください。

【平成24年度8020達成者名簿（敬称略）】

氏名	行政区	年齢	歯の数	氏名	行政区	年齢	歯の数
古寺 又美	古神2区	82	25	中村 輝元	乙姫	81	29
古寺 ミツコ	古神2区	80	25	中本 袈裟光	乙姫	83	30
嘉悦 渉	古神1区	90	22	室屋 ツジ子	竹原	92	21
山部 モリ子	古神1区	84	27	長濱 典雄	上西黒川	83	27
中村 キミ子	舞谷	88	26	宮本 強	坊中	81	21
古閑 フジ	古城4区	81	22	山部 ノブ子	坊中	83	24
堀 テルミ	古城7区	80	24	森 阿碓子	道尻	81	27
甲斐 今朝時	赤仁田	81	26	森 タドル	下役犬原	84	23
井 政近	赤水	90	28	中村 スミエ	西湯浦	81	21
三浦 キミ子	赤水	80	28	西村 トシ子	小池	88	25
山本 ミヨ子	赤水	86	26	久保 サヨ子	今町	85	29
岡田 静子	車帰	80	28	上島 トキエ	永草	80	26
益田 久己	跡ヶ瀬	83	29	古島 尊晴	永草	84	25
上島 ミツモ	跡ヶ瀬	90	27	高藤 律子	永草	83	25
畑本 マサ子	的石	81	25	竹田 昭夫	内牧2区	83	25

阿蘇市から全国へ元気を発信

ラジオ体操・みんなの体操会



阿蘇中学校グラウンドで8月13日、平成24年度夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操が行われ、1,000人を超える多くの参加者が集まり、ラジオ体操を行いました。7月の災害により開催が危ぶまれましたが、こういう時こそ阿蘇市から元気を発信しようと、開催が決定しました。

参加者は「朝から爽やかな気持ちで体操することができた」と、小さな子どもから高齢者までお馴染みの音楽に合わせ、終始笑顔で体操を楽しんでおられました。ラジオ体操の様子は、NHKラジオ第一で全国に生放送中継され、阿蘇市から全国へ元気を発信しました。

外輪山に巨大な扇が出現！

狩尾原野で恒例の「扇切り」行われる



急斜面での作業時の様子。扇の大きさは、縦4.8m、横6.8mで、内牧からもはっきりと扇の形を見ることができます。

標高750mの北外輪山（狩尾原野）の頂上付近で、狩尾地区で代々受け継がれている「扇刈り」の作業が8月5日に行われました。早朝、狩尾3区の坂梨正士区長はじめ有志の皆さんが集まり、傾斜60度の斜面での草刈り作業に汗を流されました。

今回の作業にあたっては、九州豪雨災害の被害を受けた阿蘇市が元気になるようにと願われての実施となり、ご自分たち狩尾地区も大きな被害を受けましたが、100年の伝統のある扇を見て、また観光客の方々がたくさん阿蘇市へ訪れるよう、意欲的に作業をされていました。

なでしこリーグ専務理事・田口禎則氏が講演

あしなが育英会・高校奨学生のつどい



あしなが育英会主催の「九州地区・遠児高校奨学生のつどい」（8月19～22日）が、阿蘇青少年交流の家で開催され、21日は、あしながの卒業生でもある田口禎則氏（元サッカー日本代表選手。浦和レッズ等で活躍。現在日本女子サッカーリーグ専務理事）による講演が行われました。田口氏は自分がどん底からなぜ立ち上がったかを話し、「人とのつながりが大切。人との接点を多く持とう！」と、生徒たちを勇気づけました。

なお、この九州地区つどいは、30年ほど前から阿蘇青少年交流の家で開催されており、今回も205名が参加しました。

災害時に役立つ「命のカード」

内牧小学校で大雨による避難訓練



梅雨時期の大雨を想定した避難訓練が7月11日、内牧小学校で行われ、全校児童と保護者らが参加して行われました。

この訓練は、平成2年7月の豪雨により内牧地区一帯が床上浸水などの被害があったことを教訓に、黒川が氾濫して小学校が浸水するという想定のもと、児童らが小学校から阿蘇体育館への避難し、保護者へ引き渡すというもので、今回、初めて実施されました。

保護者への引き渡し時には混乱を招かないよう、児童の住所や連絡先が記入された「緊急時引渡しカード（命のカード）」を照合しながら、スムーズな引き渡し訓練が行われました。

災害の復興を願い、農耕祭事行われる

阿蘇の農耕祭事「御田祭」



国の重要無形民俗文化財に指定されている阿蘇の農耕祭事の一つ「御田植神幸式（御田祭）」が阿蘇神社と国造神社でそれぞれ行われ、復興への願いとともに今年の豊作を祈りました。

阿蘇神社で行われた御田祭では、古式ゆかしい白装束の宇奈利などの神幸行列が田を巡り、観光客やアマチュアカメラマンの目を楽しませました。

なお、国造神社の御田祭は豪雨災害の影響で神幸式のみが行われました。

また、8月21日には農作物の大敵である風害を鎮める儀式「風祭」も行われ、収穫を目前に控え、祈りがささげられました。

一年間、災害に向けた研修に取り組みます！

地域婦人会が日赤モデル事業に指定



平成24年度熊本県地域婦人会指定日赤モデル事業に、阿蘇市地域婦人会（神保京子会長）が指定され、一年を通じ約10回の研修や訓練に取り組むことになりました。

地域婦人会は赤十字奉仕団の一員という役割も担っています。事業の開始に向け「突然の災害に備えるには日頃の訓練が何より大事」と神保会長。7月2日、開講式があり、第1回の研修として、熊本赤十字病院看護師長有働氏による「東日本大震災における日赤の救護活動」と題した講話が行われました。